

2012年（平成24年）11月6日（火曜日）

マッサージのボランティア
を行う会員



浪江町民をマッサージ

若松 千葉・神奈川の鍼灸師団体

千葉、神奈川両県の鍼灸（しんきゅう）師でつくるボランティア団体「なかのグループ」は四日、会津若松市錦町の町内会館で、浪江町民を対象としたマッサージのサービスを行った。避難生活による心身の疲れを癒やしたいと、代表の中野朋義さんら四人が昨年五月から東北各県を訪れ、無償で治療している。本県訪問は四回目。会津地方なみえ会（鈴木宏孝会長）を通じ利用を募り、約三十人がマッサージを受けた。一人に十分ほど施し、症状や希望によっては針やきゅうも使い、感謝された。

2012年（平成24年）11月14日（水曜日）

浪江町民 マッサージ
若松で県外支援団体
千葉県と神奈川県の鍼灸師でつくるなかのグループ（中野朋義代表）は4日、会津若松市の錦町町内会館でマッサージボランティアを行い、避難生活する会津地方なみえ会の会員を癒やした。

昨年5月から活動し、東北各県の被災地を訪れ、無償で施術している。同会とは本宮市に避難していた時から交流している。今回は、3人のボランティアが会員の背中や腰を温めながら体を丁寧にほぐした。中野代表は「神経ストレスを感じている人や、自覚はないが体が疲れている人が多い」と話している。

マッサージを受けた会員は表情も和らぎ、元気を取り戻していた。

ボランティア

